（別紙1）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

# 平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）

| 名　前 | 背戸　博史 | 所　属 | 生涯学習教育研究センター | 職　名 | 教授 |
|---|---|---|---|---|---|

| 領域 | 業務ウェイト比（予定） | 平成24年度　年度目標設定 | 業務ウェイト比（実績） | 平成24年度　年度末自己点検結果 |
|---|---|---|---|---|
| 教育 | 0.35 | ○一般公開講座および公開授業等の企画・運営を行う（講座開設の助言、担当講師との調整、広報、評価等）<br>○センター独自講座の企画・開発・運営を行う（強化テーマ・中期プロ離島講座・琉球大学の至宝シリーズ等の企画・開発・運営等）<br>○専門科目の授業を行う（教育学部・法文学部に「教育の社会史」を授業提供し教育事象を科学的に分析する視座を形成する） | 0.35 | ○一般公開講座および公開授業等の企画・運営を行った（講座開設の助言、担当講師との調整、広報、評価等）<br>○センター独自講座の企画・開発・運営を行った（強化テーマ・中期プロ離島講座・琉球大学の至宝シリーズ等の企画・開発・運営等）<br>○専門科目の授業を行った（教育学部・法文学部に「教育の社会史」を授業提供し教育事象を科学的に分析する視座を形成した） |
| 研究 | 0.30 | ○科研費研究代表として当該研究を遂行する（基盤C「格差是正に向けた生涯学習施策の論理と戦略に関する調査研究」研究代表：背戸博史）<br>○科研費研究研究分担者として当該研究を遂行する（基盤B「子ども・青少年育成活動における自治体行政とNPOの協働に関する日英比較研究」研究代表：宮腰英一）<br>○日本教育制度学会研究担当理事として研究活動の企画開発を行う | 0.30 | ○科研費研究代表として当該研究を遂行した（基盤C「格差是正に向けた生涯学習施策の論理と戦略に関する調査研究」研究代表：背戸博史）<br>○科研費研究研究分担者として当該研究を遂行した（基盤B「子ども・青少年育成活動における自治体行政とNPOの協働に関する日英比較研究」研究代表：宮腰英一）<br>○上記研究の成果発表を行った（日本教育制度学会第20回大会課題別セッション）<br>○日本教育制度学会研究担当理事として研究活動の企画開発を行った |
| 社会貢献 | 0.10 | ○浦添市社会教育委員（委員長）としての活動を行う<br>○おきなわ県民カレッジ運営委員（委員長）としての活動を行う | 0.10 | ○浦添市社会教育委員（委員長）としての活動を行った<br>○おきなわ県民カレッジ運営委員（副委員長）としての活動を行った<br>○那覇市生涯学習推進協議会委員としての活動を行った<br>○自治体等における講座・研修会の講師を務めた（おきなわ県民カレッジ学友会研修会、浦添市子育てアドバイザー養成講座、浦添市てだこ市民大学、中頭地区社会教育委員研修会、那覇地区社会教育委員研修会、計5本） |
| 管理運営 | 0.10 | ○生涯学習教育研究センター運営委員としての業務を行う | 0.10 | ○生涯学習教育研究センター運営委員としての業務を行った |
| 進路指導 | 0.00 | 該当なし | 0.00 | 該当なし |
| | 0.15 | ○センター研究紀要の編集・査読を通じ、生涯学習関係者への研究助言を行う<br>○成人の学習手法に関する勉強会等の開催を通じ、学内教職員に対する学習コーディネイトを行う | 0.15 | ○センター研究紀要の編集・査読を通じ、生涯学習関係者への研究助言を行った<br>○成人の学習手法に関する勉強会等の開催を通じ、学内教職員に対する学習コーディネイトを行った |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。<br>・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。 |

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

# 平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

| 名　前 | 後藤　武俊 | 所　属 | 生涯学習教育研究センター | 職　名 | 准教授 |
|---|---|---|---|---|---|

| 領域 | 業務ウェイト比（予定） | 平成24年度　年度目標設定 | 業務ウェイト比（実績） | 平成24年度　年度末自己点検結果 |
|---|---|---|---|---|
| 教育 | 0.30 | 1. 講座開設への助言、担当講師との調整、広報、評価による公開講座の品質維持<br>2. 強化テーマ（2件）・離島支援プロジェクト・名誉教授シリーズの実施による公開講座の充実<br>3. 共通教育科目「教育政策史」の授業を通じて、現代社会を多角的に捉える力を養う | 0.30 | 1. 講座開設への助言、担当講師との調整、広報活動、評価実践を通じて、公開講座の品質維持に努めた。<br>2. 強化テーマ（2件）、離島支援プロジェクト（「知のふるさと納税」）、名誉教授シリーズなど、特色ある公開講座を実施した。<br>3. 「教育政策史」の授業を通じて、現代社会を多角的に捉える力を養う機会を提供した。 |
| 研究 | 0.30 | 1. 社会教育・生涯学習の基礎理論に関する研究を継続するとともに、ワークショップをはじめとする学習方法の研究を進める<br>2. 生涯学習機会としてのオルタナティブな学校の役割に関する研究を遂行する（学会発表、論文執筆など） | 0.35 | 1. ワークショップに関する学習方法の研究成果として、「教育政策史」の授業や「知のふるさと納税」事業にワークショップ型の学習形態を幅広く導入した。<br>2. オルタナティブな学校の役割に関する研究成果として、論文（1件）、著書（共著1件）の執筆を行った。 |
| 社会貢献 | 0.10 | 1. 学外の研究会・講演会・講座等への協力により、専門知識の普及・拡大に努める | 0.05 | 1. 学外の研究会（NPO法人東京賢治の学校・高等部公開卒業研究論文発表会）において審査委員を務めるなど、専門知識にもとづく社会貢献活動を行った。 |
| 管理運営 | 0.20 | 1. 生涯学習教育研究センター運営委員としての業務を遂行する<br>2. 大学評価センター評価企画員としての業務を遂行する<br>3. エコアクション担当者としての業務を遂行する<br>4. 全学情報システム運用委員としての業務を遂行する | 0.20 | 1. 生涯学習教育研究センター運営委員として、協議題の調整、協議資料の作成等を行い、運営委員会の円滑な進行に寄与した。<br>2. 大学評価センター評価企画員として、会議に参加した。<br>3. エコアクション担当者として、ヒアリング対応等の業務を遂行した。<br>4. 全学情報システム技術委員として、会議に参加した。 |
| 進路指導 | 0.00 | 該当なし | 0.00 | 該当なし |
| コーディネート | 0.10 | 1. センター研究紀要の編集・査読を通じ、生涯学習関係者への研究助言を行う<br>2. 成人の学習手法に関する勉強会等の開催を通じ、学内教職員に対する学習コーディネートを行う | 0.10 | 1. センター研究紀要の編集・査読を通じ、投稿者への研究助言等を行った。<br>2. 学内教職員による勉強会の場を提供し（毎月開催）、教員と職員の情報共有を図った。 |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。<br>・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。 |